

【自然生態系・海洋】

- 001) 青田昌秋、植松恵理子、1989：氷海の研究とオホーツク海、地学雑誌、Vol.98、No.5、pp.600-612.
(The study on the polar ocean and the sea of Okhotsk.)
- 002) 浅井富雄、1990：地球温暖化と海洋、Sci. & Tech.、Vol.3、No.4、pp.3-5.
- 003) Ikeguchi, H., K. Takeuchi and A. Tsunekawa, 1991: Potential natural vegetation mapping of Japan by means of GIS, Environmental Change and GIS, Vol.1 (Ota, I. ed., 496pp), pp.26-33.
- 004) 伊東祐方、友定彰、1985：異常海況と水産資源、農業および園芸、Vol.60、No.7、pp.889-896.
- 005) 犬伏和之、1991：地球温暖化と土壌生態系との関係、三重大学環境科学研究紀要、No.15、pp.83-89.
(Global warming and soil ecosystem.)
- 006) Uchijima, Z., 1976: Long-term changes and variability of sum of air temperature during period with daily mean above 10°C., J. Agric. Met. Japan, Vol.31, pp.185-194.
- 007) 及川武久、1990：地球システムの風景 気候と共存するサブ・システムをめぐって 1 陸上生態系、天気、Vol.37、No.11、pp.728-731.
(A view of the earth system. Some subsystems coexisting with climates. Terrestrial ecosystem.)
- 008) 及川武久、1991：特集 地球環境工学 陸上生態系と地球環境、ケミカルエンジニアリング、Vol.36、No.1、pp.32-35.
- 009) 及川武久、1991：二酸化炭素濃度上昇と生物圏、農業気象、Vol.47、No.3、pp.191-194.
(Increase of Atmospheric CO₂ Concentration and Biosphere.)
- 010) 大場秀章、1991：IPCC第2作業部会（影響評価作業部会）報告書の要点－重要事項並びに日本及びアジアにおける検討課題－3、陸上自然生態系への影響、平成3年度環境庁委託研究報告書、計量計画研究所、pp.62-76.
- 011) Ohba, H., 1992: Notes on the flora of Tokara Islands (1), J. Jpn. Bot., Vol.67, pp.49-51.
- 012) 大政謙次、森田恒幸、増田啓子、甲斐沼美紀子、恒川篤史、名取俊樹、清水英幸、戸部和夫、田中浄、榊剛、大場秀章、1991：自然植生の分布への影響の解明及び予測に関する研究、平成2年度地球環境研究総合推進費研究成果報告集（環境庁）、pp.340-347.
(Evaluation and prediction of the global warming effects on the distribution of the natural vegetation)
- 013) 大政謙次、森田恒幸、増田啓子、甲斐沼美紀子、恒川篤史、名取俊樹、清水英幸、戸部和夫、田中浄、榊剛、大場秀章、1992：自然植生の分布への影響の解明及び予測に関する研究、平成3年度地球環境研究総合推進費研究成果報告集（I）（環境庁）、pp.308-311.
(Evaluation and prediction of the global warming effects on the distribution of the natural vegetation)
- 014) 甲斐啓子、甲斐沼美紀子、1991：温暖化による植物の開花・発芽日の予想、日本

農業気象学会1991年度全国大会.

- 015) 茅根創、1991：地球温暖化とサンゴ礁、地質ニュース、No.445、pp.43-49.
- 016) 川崎健、1988：気候変動と日本周辺の水産資源、気象研究ノート、162、pp.143-161.
- 017) 川崎健、1991：地球的規模の気候変化が海洋生態系および漁業に及ぼす影響 [2] 農業および園芸、Vol.66、No.2、pp.271-277.
- 018) 木村吉宏、1992：エルニーニョ現象 (日本海洋協会S)、エルニーニョ現象平成4年、163pp.
- 019) 桐谷圭治、1988：昆虫相への気候変化の影響、気象研究ノート、162、pp.137-142.
- 020) 楠田哲也、1992：地球温暖化の陸水への影響と対策、水環境学会誌、Vol.15、No.11、pp.11-14.
- 021) 小島紀徳、1991：二酸化炭素問題に対する地上植物の寄与と利用、地球環境工学ハンドブック (茅陽一編)、オーム社、pp.501-506.
- 022) 斉藤昌宏、1991：CO₂による温暖化と森林生態系、農業および園芸、Vol.66、No.1、pp.185-192.
- 023) 佐伯理郎、1992：防災特集 気候変動と気象災害、日本鉄道施設協会誌、Vol.30、No.6、pp.388-391.
- 024) 桜井尚武、1991：CO₂気候変化と森林生産力、農業および園芸、Vol.66、No.1、pp.193-200.
- 025) 佐々木道也、1989：茨城県沿岸における魚類資源について—I 環境条件の指標としての水温と漁獲量の変動について、茨城県水産試験場研究報告、Vol.27、pp.87-94.
- 026) 篠田孝、1990：地球環境問題に係る海岸の諸課題、海岸、No.30、pp.5-10.
- 027) 嶋津錦彦、1992：気候変動と漁業・養殖業生産、水産の研究、Vol.11、No.2、pp.46-57.
- 028) Seino, H. and Z. Uchijima, 1985: Agroclimatic evaluation of net primary productivity of natural vegetation (2) Assessment of total net primary production in Japan., J. Agric. Met. Japan, Vol.41, pp.139-144.
- 029) Seino, H., 1992: Implications of climate change for Japanese crop production. (submitted to U.S.E.P.A. Report)
- 030) 田中修三、1992：環境汚染と微生物、ミュー、No.11、pp.252-256.
- 031) 寺崎誠、1990：地球システムの風景 気候と共存するサブ・システムをめぐって 4 海洋プランクトン、天気、Vol.37、No.11、pp.741-745.
(A view of the earth system. Some subsystems coexisting with climates. Marine planktons.)
- 032) 埴田宏、斎藤昌弘、小林繁男、田中永晴、宮川清、相沢州平、大谷義一、森澤猛、後藤義明、山野井克己、田中信行、谷本文夫、桜井尚武、佐藤明、太田貞明、平川泰彦、金澤洋一、太田誠一、高橋邦秀、田淵隆一、北原曜、佐々朋幸、池田重

人、大丸裕武、北田正憲、松岡広雄、1991：高山・亜高山地帯の植物への影響の
 解明に関する研究、平成2年度地球環境研究総合推進費研究成果報告集（環境
 庁）、pp.348-353.
 (Global Warming Effects on the Alpine and Subalpine Vegetation of Japan)

- 033) 埴田宏、小林繁男、田中永晴、宮川清、相沢周平、大谷義一、森澤猛、後藤義明、
 山野井克己、桜井尚武、梶本卓也、千葉幸弘、大澤奈保子、奥田史郎、太田貞明、
 平川泰彦、金澤洋一、九島宏道、北原曜、斎藤武史、太田誠一、大友玲子、田淵
 隆一、池田重人、佐々朋幸、大丸裕武、北田正憲、松岡廣雄、1992：高山・亜高
 山地帯の植物への影響の解明に関する研究、平成3年度地球環境研究総合推進
 費研究成果報告集（I）（環境庁）、pp.312-315.
 (Global Warming Effects on the Alpine and Subalpine Vegetation of Japan)
- 034) 鳥羽良明、山形俊男、花輪公雄、永田豊、遠藤昌宏、金森悟、池上尚、大場忠道、
 1986：気候変動と海洋、月刊海洋科学、Vol.18、No.5、pp.262-321.
- 035) 友定彰、1989：マイワシと環境、オペレーションズリサーチ、Vol.34、No.6、
 pp.236-241.
- 036) 長野章、1991：地球温暖化の漁業生産施設（漁港）への影響、農業および園芸、
 Vol.66、No.1、pp.221-229.
- 037) 奈須敬二、1990：地球温暖化で魚介類はどうなるか、食の科学、No.153、
 pp.8-20.
- 038) 野上道男、大場秀章、三上岳彦、久保幸夫、1991：衛星画像とDTMの重ね合わ
 せによる温度環境の推定と森林帯分布の対応——日本列島についての数値地図
 による解析——、文部省重点領域研究〔衛星による地球環境の解明〕平成2年
 度第2回シンポジウム報告書、pp.81-86.
 (Forest Zone and Thermal Environment)
- 039) 服部保、中西哲、武田義明、1987：近畿地方における照葉樹林主要構成種の地理
 的分布、特に後氷期の分布拡大について、日本生態学会誌、Vol.37、No.1、
 pp.1-10.
 (The chorological study of the main lucidophyllous species in the Kinki
 district with special reference to their immigration during the post-
 glacial period.)
- 040) 服部勉、1991：CO₂ 環境変化と微生物を考える、農業および園芸、Vol.66、
 No.1、pp.117-120.
- 041) 福原道一、1992：地球環境と粘土 地球環境変動に伴う農業生態系に係わる土壌
 変動、粘土科学、Vol.32、No.1、pp.8-15.
 (Soil in Agro-Ecosystem Related to Global Environmental Change.)
- 042) 細見正明、1991：土壌圏における物理と化学、地球環境工学ハンドブック（茅陽
 一編）、オーム社、pp.116-134.
- 043) 細見正明、1992：土壌環境への影響、水環境学会誌、Vol.15、No.11、pp.15-20.
- 044) 堀江毅、1991：特集 水と地球環境問題 地球環境保全と海洋汚染、用水と廃水、
 Vol.33、No.1、pp.20-27.
- 045) Manabe, S. and R.T. Wetherald, 1986：Reduction in summer soil wetness
 induced by an increase in atmospheric carbon dioxide, Science, Vol.232,
 pp.626-628.

- 046) Manabe, S. and R.T. Wetherald, 1987: Large-scale changes of soil wetness induced by an increase in atmospheric carbon dioxide, J. Atmos. Sci., Vol.44, pp.1211-1235.
- 047) 光田寧、1990: 森林の伐採による気候変化、土木学会誌、Vol.75、No.5、pp.39-42.
(Climate change caused by cut down of forest.)
- 048) 陽捷行、1988: 大気環境への土壌のかかわり、科学、Vol.58、No.10、pp.651-654.
(Soils involved in atmospheric environment.)
- 049) 陽捷行、1991: 農業生態系から発生する微量ガスの温暖化への影響、農業および園芸、Vol.66、No.1、pp.143-149.
- 050) 三村信男、柳哲雄、1991: IPCC第2作業部会(影響評価作業部会)報告書の要点－重要事項並びに日本及びアジアにおける検討課題－6.海洋、沿岸域への影響、平成3年度環境庁委託研究報告書、計量計画研究所、pp.115-135.
- 051) 安成哲三、1991: 特集・生態系と環境問題 「地球温暖化」と生物圏、遺伝、Vol.45、No.8、pp.23-28.
- 052) 山崎幸雄、上野英克、近藤純正、1989: 東北地方太平洋沿岸域の大気と海洋の相互作用の長期変動、天気、Vol.36、No.11、pp.689-695.
(Long-term variation of the air-sea interaction in the Pacific coastal region of the northeastern part of Japan.)
- 053) 山田興一、1991: 特集・地球上のCO₂と生物 CO₂問題と対策、遺伝、Vol.45、No.9、pp.14-19.
- 054) 渡辺正孝、1990: 海洋汚染と地球規模環境、土木学会誌、Vol.75、No.5、pp.35-38.
- 055) 渡辺正孝、1992: 海洋が地球環境にはたす役割、水環境学会誌、Vol.15、No.11、pp.7-10.